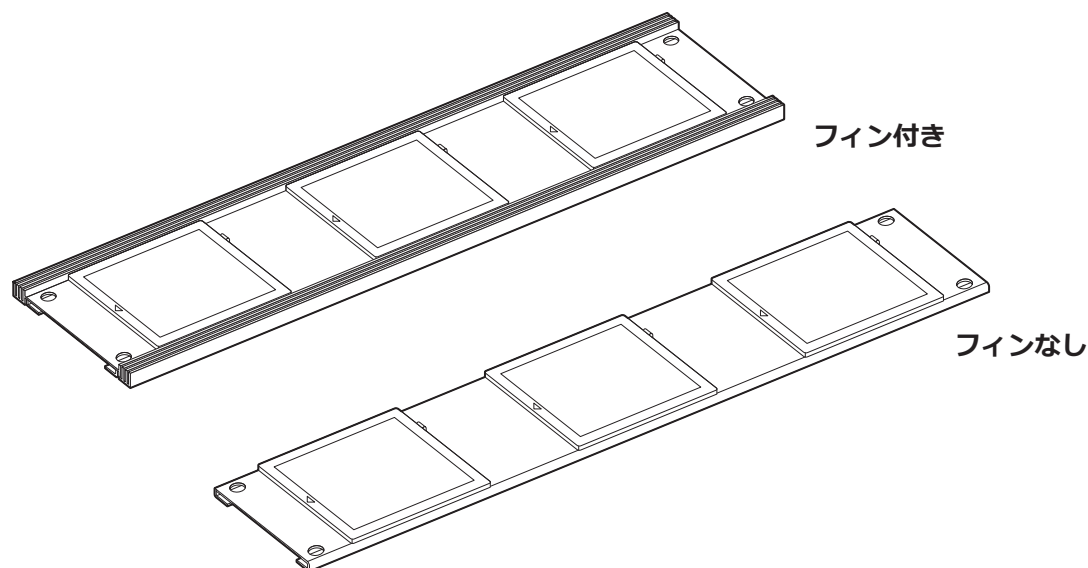


カネカ有機EL照明

KANEKA LUCE ARCHITECTURE Sシリーズ



施工要領書

もくじ

安全上のご注意	P.2
施工時に必要なもの	P.4
各部の名称	P.8
施工方法	P.10
製品仕様	P.31

屋内専用

国内専用

施工工事店様へ

- 施工の前に本書をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- この施工要領書は、施工のポイント、メーカー指定代理店から本書と一緒に渡される取扱説明書と共に、必ずお客様にお渡しください。

お客様へ

- このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- この施工要領書は、施工のポイント、取扱説明書と共にお手元に保管してください。
- この施工要領書は、参考としてお渡しするものです。本書に記載されている作業などが必要となった場合、ご購入された販売店、もしくはメーカー指定代理店にご相談、ご依頼ください。お客様ご自身では行わないでください。
- 本書では、型番SF-455L/W※の図で説明しています。
※L：相対色温度 3000K W：相対色温度 4000K

安全上のご注意

お使いになる方や、その他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐことを目的に、必ずお守り頂くことを説明しております。けがや故障、火災などを防ぐためにも、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

 警告	この表示の注意事項を守らないと、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	この表示の注意事項を守らないと、人が軽傷を負う可能性が想定される内容、および、物的損害の発生が想定される内容を示します。

お守り頂く内容を、下記の図記号で示します。

 してはいけないことを示します。	 実行していただくことを示します。
--	--

警告

■ 設置場所について

 以下のような場所に設置はしないでください。

- ・製品の重量(P.31～33)に十分耐える強度がない場所（取り付け面に強度がない場合は、補強をしてください）
- ・段差がある場所など正しく製品を取り付けることができない場所
- ・取り付けた製品が振動したり揺れたりする場所
 - 簡易的な壁など振動する場所
 - ドアや窓などの可動物もしくは可動するもの、あるいは動くものが近く振動が伝わりやすい場所
 - 窓の近くやエアコンの吹き出し口の近くなど風が製品に当たる場所
- ・周囲温度が高くなる場所
 - エアコンの吹き出し口やヒーターが近くにある場所
 - 熱器具が近くにある場所
- ・浴室、屋外など結露する場所、湿気が多い場所、水がかかる場所や加湿器が近くにある場所
- ・直射日光など、紫外線が当たる場所
- ・腐食性ガス、可燃性ガスが発生する場所
- ・幼児の手が届く場所
- ・人やものがぶつかる可能性のある場所
- ・燃えやすいものが近くにある場所

落下や破損・故障による火災、感電、やけど、けがの原因となります。

■ 設置するときは

-  **本製品の取り付け、配線は本書の施工方法に従って確実に行ってください。**
取り付けに不備があると火災、感電、故障、やけど、けがの原因となります。
-  **発煙や異臭、異音、異常な発熱など、異常を感じた場合は、すぐに主電源を切り、ご購入された販売店、もしくはメーカー指定代理店へご連絡ください。**
そのまま設置すると、火災、感電の原因となります。
-  **電源の配線は電気工事士の有資格者が必ず実施してください。**
取り付けに不備があると火災、感電、故障の原因となります。
-  **必ずAC100VもしくはAC200V電源を使用してください。**
火災、感電、やけど、けが、故障の原因となります。
-  **電源の極性（L、N、アース）の接続を確認し、間違えないように接続してください。**
火災、感電、やけど、けが、故障の原因となります。
-  **ベースプレート固定用ネジは施工方法に従い、必ず指定数取り付けてください。（P.31～33）**
取り付け忘れや誤った位置に取り付けると固定強度が足りず、製品が落下し、破損、火災、やけど、けがの原因となります。
-  **調光インターフェースを使用の場合は、木ねじを使用し、必ず4箇所取り付けてください。（P.16）**
正しく固定していないと、振動や衝撃、地震などにより、落下し、人体や動植物、財物に当たり、けがや損害を与える原因となります。
-  **接続は指定のハーネス、電源装置、調光インターフェースを使用してください。**
火災、故障などの原因となります。

安全上のご注意（つづき）

■ 設置するときは



破損した本体、付属品（別売）は使用しないでください。

火災、感電、落下の原因になります。破損した場合は、ご購入された販売店、もしくはメーカー指定代理店までご連絡ください。



分解・改造をしないでください。また、器具の隙間に物を挟んだりこじ開けたりしないでください。

火災、感電、故障などの原因となります。



通電した状態で、取り付け、取り外しをしないでください。

感電、故障の原因となります。



ハーネスを束ねたりステーブルなどで固定しないでください。

ショート、故障の原因となります。



本製品を紙や布などで覆わないでください。

火災、やけどの原因となります。



注意



本製品に物をぶつけたり、落下させたり、強く押したりしないでください。

落下や破損により、けがの原因となります。



本製品の上に物を載せないでください。

故障の原因となります。



電極やコネクタなどの金属部分に直接触れないでください。

故障の原因となります。



アルカリ性、酸性、塩素系の洗剤、およびベンジンやシンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。

また、磨き粉やたわしを使用しないでください。

製品の表面や各部品が腐食し、故障、発煙、発火の原因となります。



取り付け、取り外しは手指の防護ができる手袋を使用してください。

突起部や端部などでけがをするおそれがあります。



取り付け、取り外しの前には、本製品と取扱者の双方を除電してください。

火災、感電、故障などの原因となります。

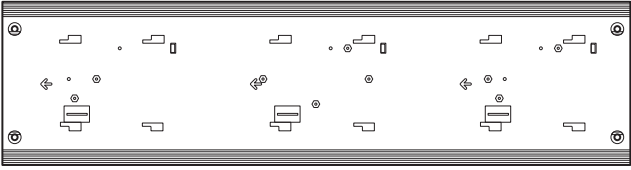
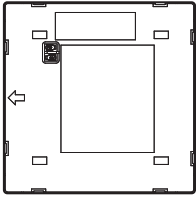


点灯中や消灯直後に本製品に触る際は、手袋を使用してください。

温度が高くなっている場合があり、やけどをする原因となります。

施工時に必要なもの

本体（同梱されています）

	ベースプレート	有機ELパネル
SF-455L/W の場合		
数量	1	3
	注意ラベル（2次元バーコード付）	有機ELパネルは、ベースプレートに取り付けられた状態で納品されます。
数量	1	

取扱説明書、施工のポイント、施工要領書（本書）は、本体に同梱されていません。
取扱説明書、施工のポイントは必ずご購入された販売店、もしくはメーカー指定代理店から取り寄せるか、下記の2次元バーコードからメーカーのホームページにアクセスし、取得してください。



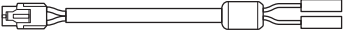
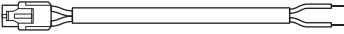
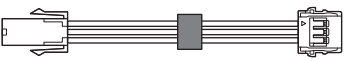
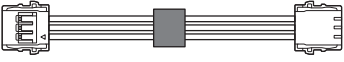
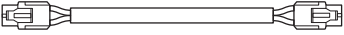
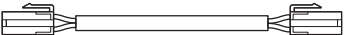
施工の前に本体と付属品（別売）がそろっていることを、次頁以降の表でご確認ください。
不足や破損などがあった場合は、ご購入された販売店、もしくはメーカー指定代理店までご連絡ください。

施工時に必要なもの（つづき）

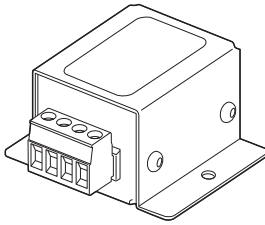
付属品（別売）

施工にはベースプレート、有機ELパネルのほかに別売されている次の部品・部材が必要です。
必要な数量を器具本体と共にご購入ください。

指定ハーネス一覧

種類	型番	長さ[m]	ハーネス形状	備考
電源ハーネス	LZ-J4C3	0.5		対象電源：LZ-P03
	LZ-U4L	0.5		対象電源： LZ-P04/LZ-P05/LZ-P06
変換ハーネス (Sシリーズ)	LZ-U2B	0.47		
連結ハーネス (Sシリーズ)	LZ-U202A-10	0.22		対象製品： S/SF-202L/W
	LZ-U303A-10	0.32		対象製品： S/SF-303L/W
	LZ-U455A-10	0.47		対象製品： S/SF-455L/W
延長ハーネス	LZ-U3E3	0.2		
	LZ-U3A3	1.0		
	LZ-U3B3	3.0		
	LZ-U3C3	5.0		
	LZ-U3D3	10.0		
ジョイント ハーネス	LZ-U5A3	0.2		

調光インターフェース

型番	用途	形状	備考
LZ-IF3	・ PWM調光時に使用		

施工時に必要なもの（つづき）

付属品（別売）

電源装置一覧

本体の種類、連結数に応じて、適切な電源装置を器具本体と共にご購入ください。
仕様詳細は、各電源装置の取扱説明書をご参照ください。

型番	製造メーカー型番	最大出力	出力電圧	接続できる最大有機ELパネル数※1
LZ-P03	KLZZ240-50H (株式会社共進電機製作所製) ※2	120W	24V	27
LZ-P04	LPSOL-030-24-ND-I (株式会社Luci製) ※3	30W	24V	6
LZ-P05	LPSOL-075-24-ND-I (株式会社Luci製) ※3	75W	24V	15
LZ-P06	LPSOL-145-24-ND-I (株式会社Luci製) ※3	124W	24V	27

※1 ベースプレートの種類により、1つのベースプレートに接続される有機ELパネルの数は異なります。

※2 以降は「共進社製」とする。

※3 以降は「Luci社製」とする。

製品用途

製品	用途	数量
電源装置 (必ずご用意ください)	・ ベースプレートへ電源供給する専用電源 上記の電源装置一覧から適切なものを選択してください。	必要数
電源ハーネス (必ずご用意ください)	・ 電源装置のDC出力側と調光インターフェースの接続 ・ 電源装置のDC出力側と変換ハーネスの接続 ・ 電源装置のDC出力側とジョイントハーネスの接続	必要数
変換ハーネス (必ずご用意ください)	・ ベースプレートと延長ハーネスの接続 ・ ベースプレートと電源ハーネスの接続	電源1につき1本
連結ハーネス	・ ベースプレート同士の接続	必要数 ※ご購入は10本単位となります。
延長ハーネス	・ 変換ハーネスと調光インターフェースの接続 ・ 変換ハーネスとジョイントハーネスの接続	必要数
ジョイントハーネス	・ 電源ハーネスと延長ハーネスの接続	電源1につき1本
調光インターフェース (調光ありの場合)	・ PWM調光時に使用 指定の調光インターフェースをご用意ください。	電源1につき1台

施工時に必要なもの（つづき）

ご用意いただく物

次の部品・部材はお客様にてご用意ください。

製品	仕様	数量
ベースプレート用固定ネジ (必ずご用意ください)	・ネジ径：φ3.5 ～ 4.0mm ・ネジ種／ネジ長：取り付ける面の材質・厚みに対して、本製品重量（約1.37kg: SF-910-9L/Wの場合。電線重量含まず）の取り付けに十分耐えられる適切なものを選定ください。（最小ネジ長：15mm）	1ベースプレート 4本、または6本 ^{※3}
電源スイッチ ^{※1}	・適切に電源の断続を行うことができる仕様のスイッチを選定ください。	必要数
電源装置のAC INに 接続するケーブル (必ずご用意ください)	・システムに適切なものをご用意ください。	必要数
調光器 ^{※2}	・JISC8120またはIEC60929に適合した調光器を選定してください。	必要数
調光インターフェース用 固定ネジ ^{※2} (使用する場合は必ずご用意 ください)	・ネジ径：φ3～φ3.5mm ・ネジ長：ネジ種、ネジ長は取り付ける面の材質、厚みに応じて、本製品重量（約33g 電線重量含まず）の取り付けに十分耐えられる適切なものを選定ください。	必要数

※1 必要に応じて用意してください。

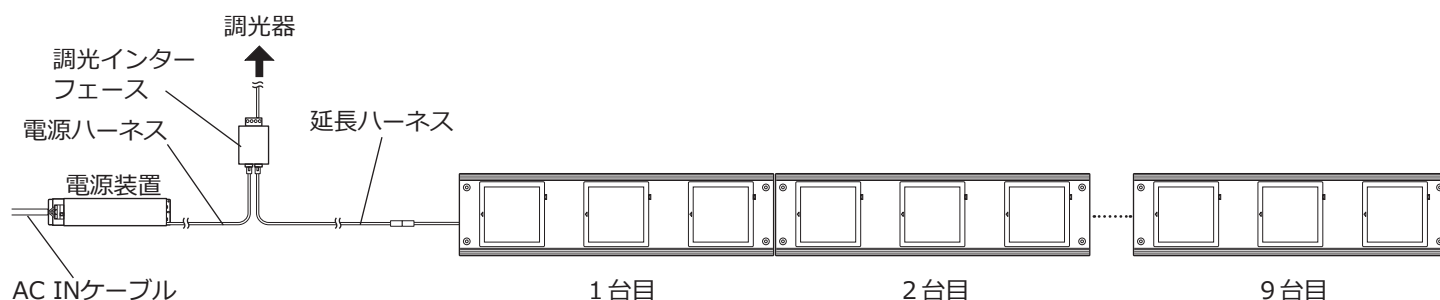
※2 調光を行わない場合は不要です。

※3 型番によって変わります。

連結数の例

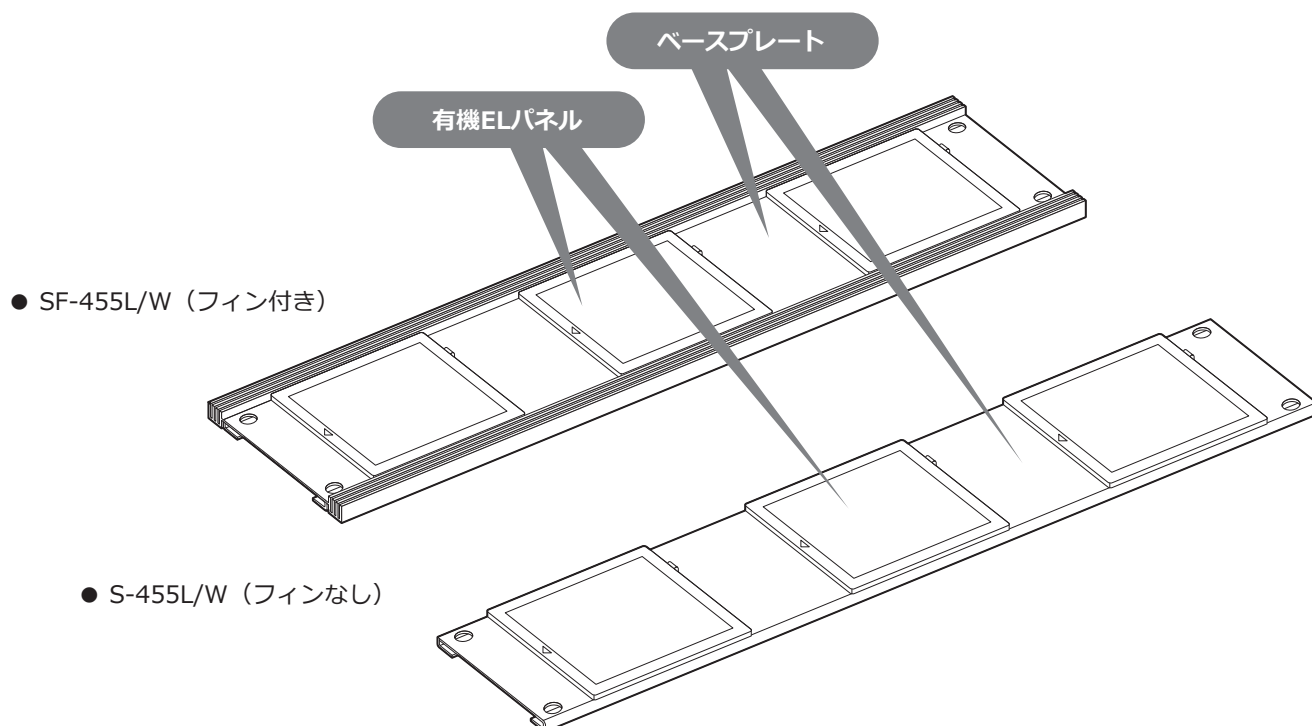
【LZ-P03（KLVZ240-50H 共進社製）の場合】

光源数が3個の本製品を9台連結できます。



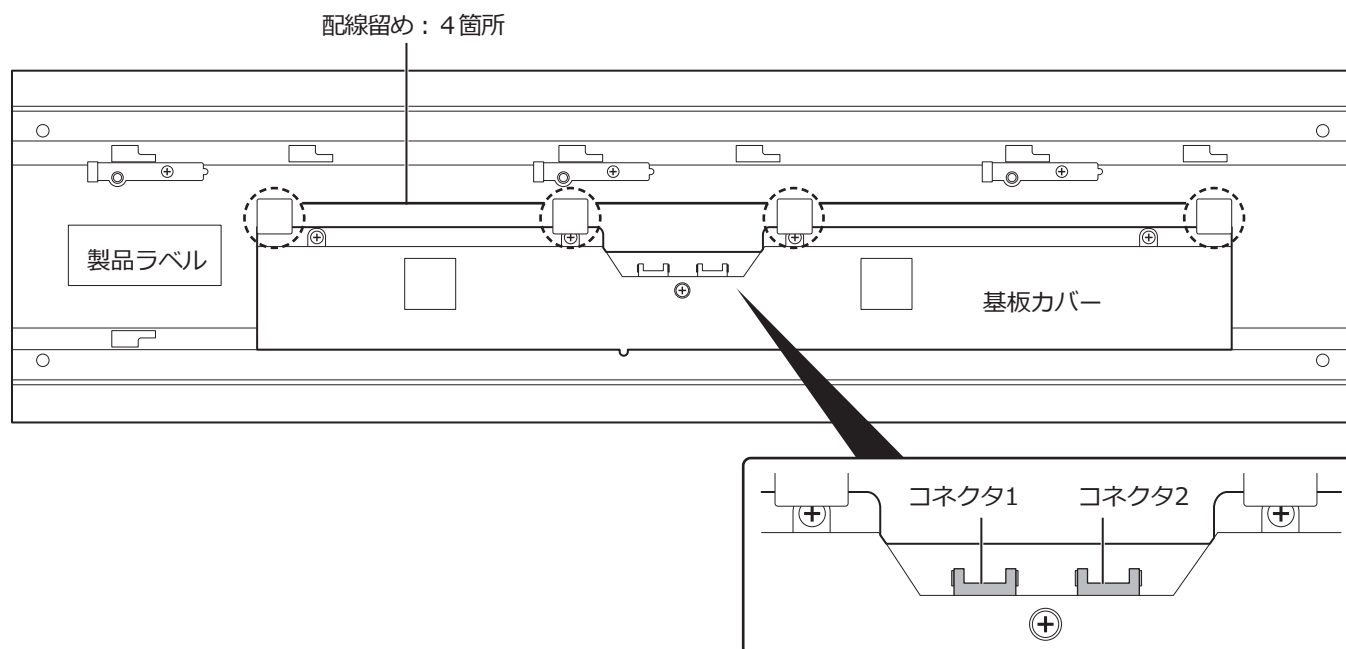
各部の名称

本製品は2つのユニットで構成されています。



ベースプレート裏面

各部品の数値は型番により異なりますので、P31 ~ 33「製品仕様」で確認してください。



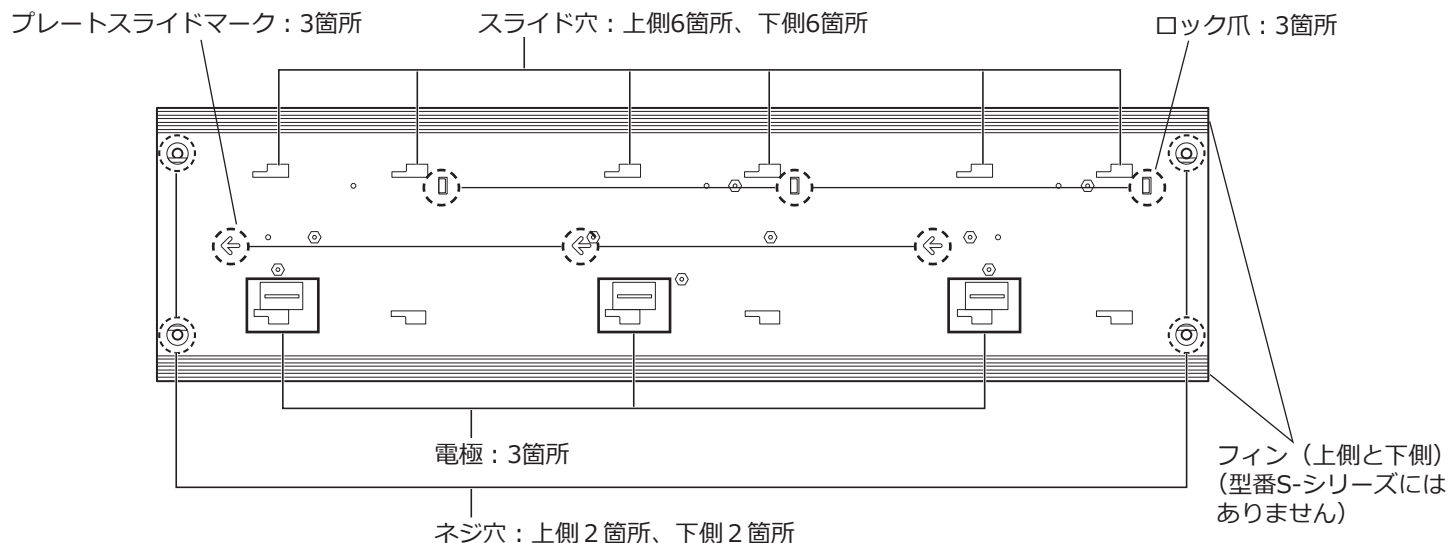
コネクタ1、コネクタ2について

変換ハーネス、または連結ハーネス（ベースプレート連結時）を接続します。
コネクタの接続の詳細は、P.19「⑥ベースプレートとハーネスの接続」をご覧ください。

各部の名称 (つづき)

ベースプレート表面 (発光面)

各部品の数値は型番により異なりますので、P31 ~ 33「製品仕様」で確認してください。



注意

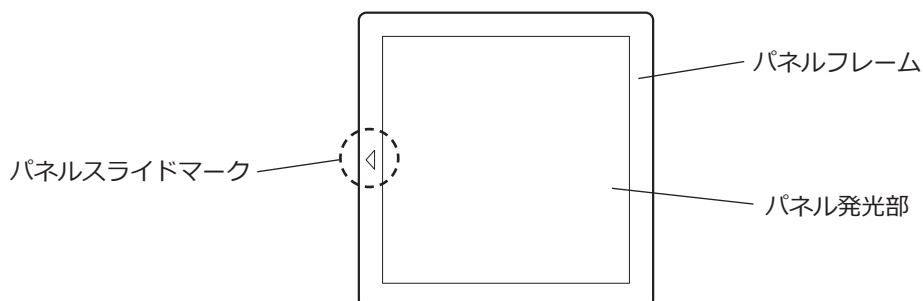


電極には触らないでください。

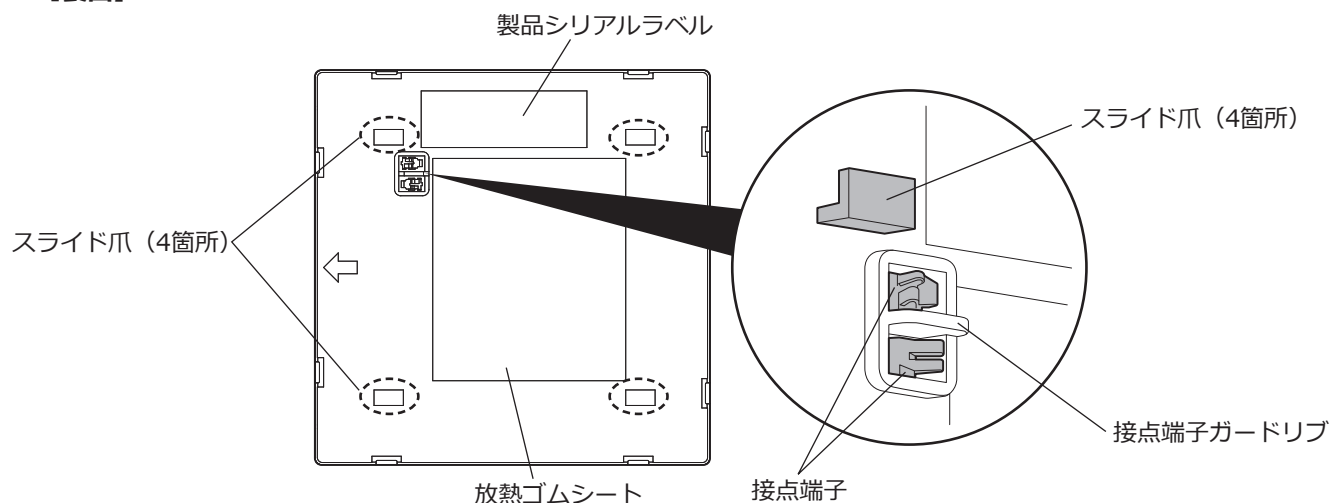
電極端子の変形や異物付着などにより故障、不点灯などの原因となります。

有機ELパネル

【表面】



【裏面】



注意



接点端子には触らないでください。

接点端子の変形や異物付着などにより故障、不点灯などの原因となります。

本製品の取り付け施工は以下の順で行ってください。

①設置箇所の確認

▶ P.11



②接続と配線

▶ P.12



③電源の接続

▶ P.14



④調光インターフェースの接続（調光ありの場合）

▶ P.16



⑤ベースプレートの取り付け

▶ P.18



⑥ベースプレートとハーネスの接続

▶ P.19



⑦ベースプレートの取り付け

▶ P.23



⑧動作確認

▶ P.30

有機ELパネルの取り外し

▶ P.30

有機ELパネルの取り付け

▶ P.30

設置場所について

設置する場所について、以下を確認してください。（「安全上のご注意」(P.2) も確認してください）

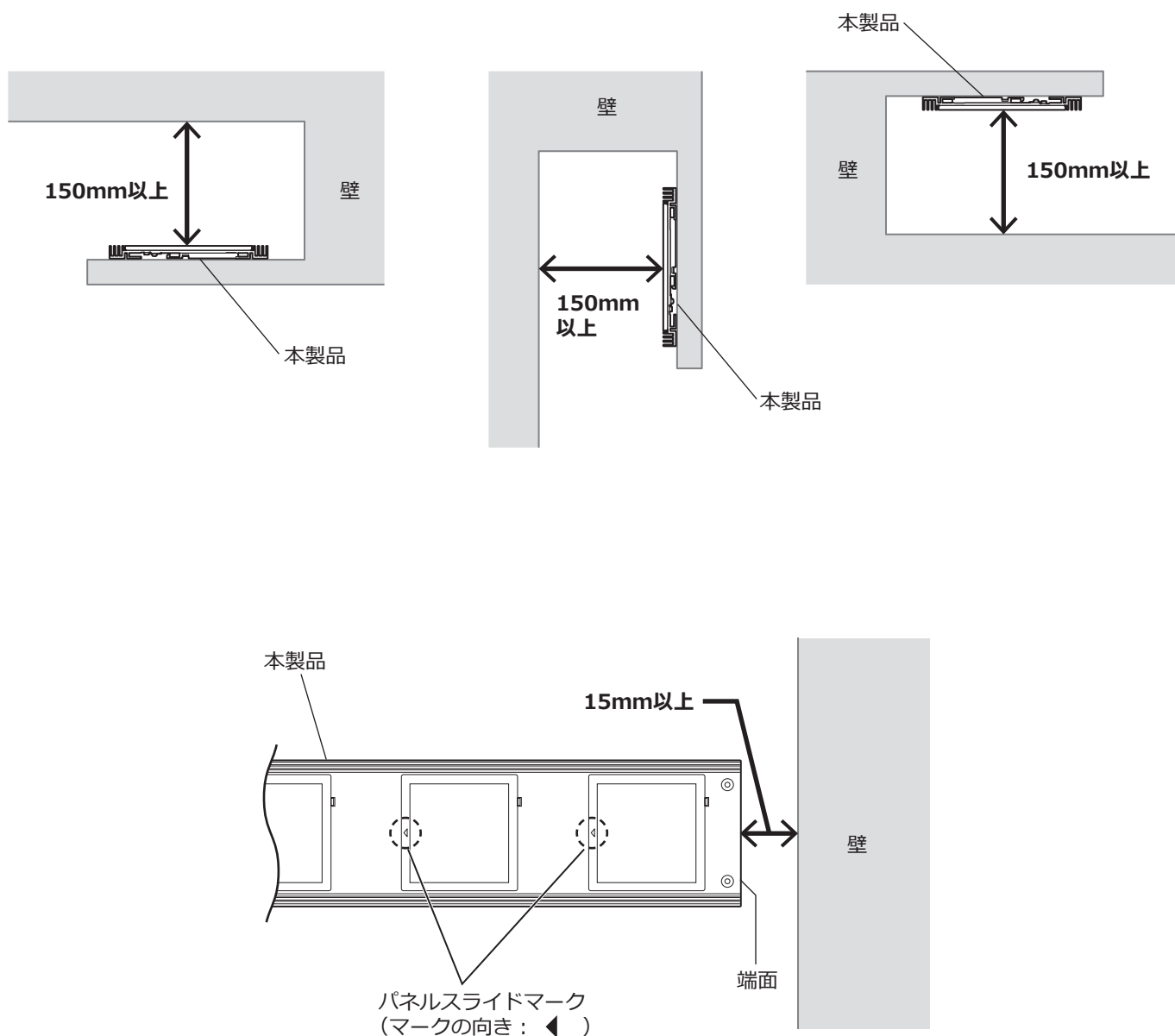
- 取り付ける壁や天井、棚板は、本製品重量（P.31～P.33）に十分耐えられる強度があること。
（強度がない場合は補強してください）
- 下地がありネジで固定できるか、もしくはアンカー等の補助器具により適切な処置を行えること。
- 右記の下地がある天井／壁／棚板であること。… 軽量鉄骨／木製の梁、柱／木板（厚み10mm以上）
- 取り付けの際は、本製品の周囲に下記のスペースを設けること。

ベースプレート表面から150mm以上とする。

…有機ELパネル取り付け・取り外し時に必要なスペース。

- 有機ELパネル取り外し側：パネルスライドマークのない端面から15mm以上（壁まで）

…有機ELパネル取り付け・取り外し時に必要なスペース。



配線の概要

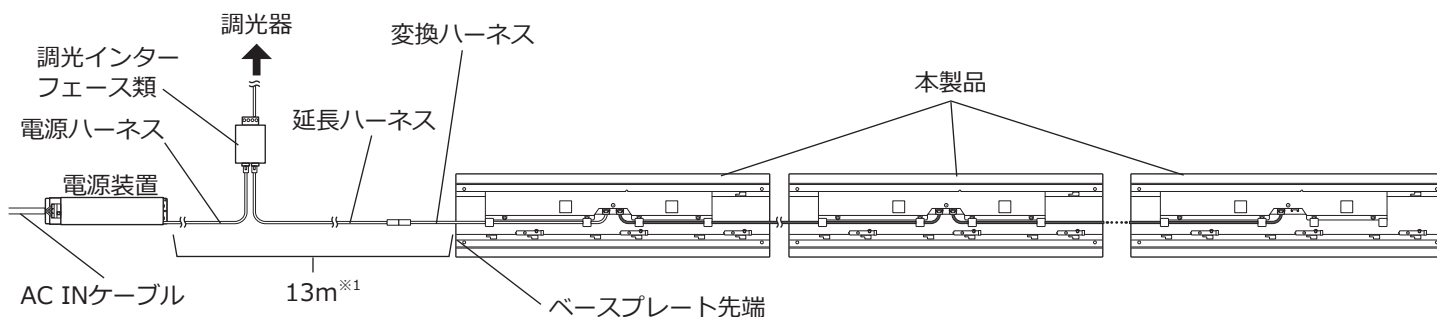
電源装置、調光インターフェース（調光ありの場合）、ベースプレートは、指定のハーネスを用いて下図のように接続します。



- 配線の長さにより電圧降下が発生します。配線は、それぞれの接続図に記載している長さ以下になるように施工してください。
- 電源装置 1 台、および、調光インターフェース 1 台に接続できるベースプレートの台数は、ベースプレートにより異なります。P.6 電源装置一覧「接続できる最大有機ELパネル数」をご覧ください。
- 接続には必ず指定ハーネス類（P.5「指定ハーネス一覧」）を使用してください。

調光ありの場合

電源装置、調光インターフェース、ベースプレートなどを下図のように接続します。

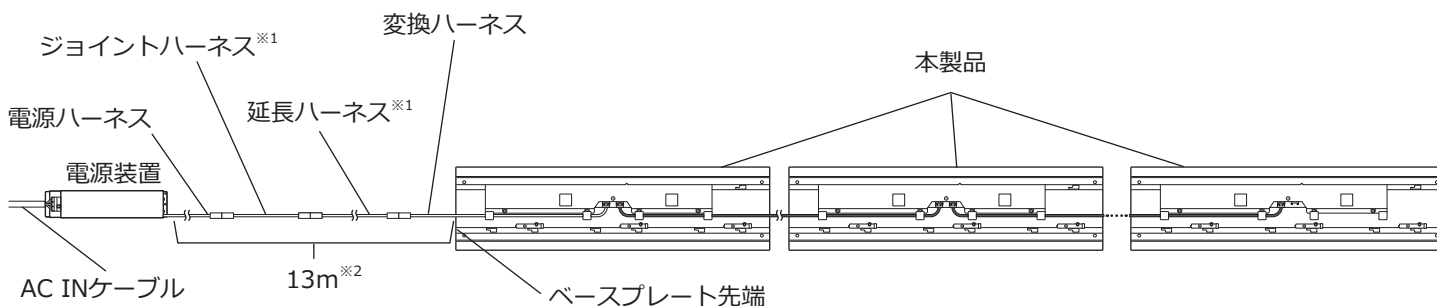


※1 電源装置からベースプレート先端までの距離は最大で13mです。

調光なしの場合

電源装置、ベースプレートなどを下図のように接続します。

※1 延長ハーネスを使用しない場合は、ジョイントハーネスを使用する必要はありません。



※2 電源装置からベースプレート先端までの距離は最大で13mです。



注意



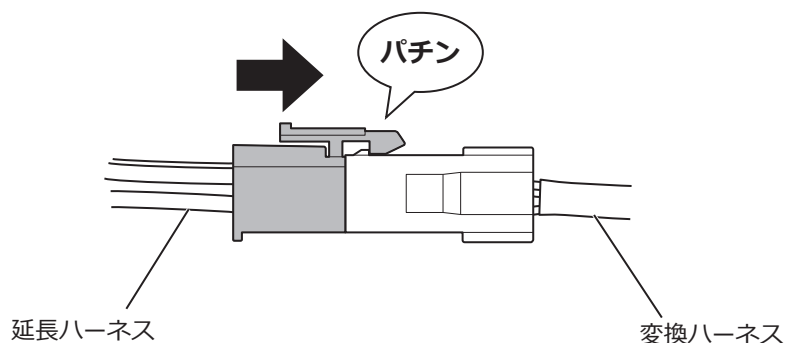
配線の際は、ハーネスやコネクタに無理な力が加わらないように、余裕を持たせて配線してください。

無理な力が加わると、破損や故障の原因となります。

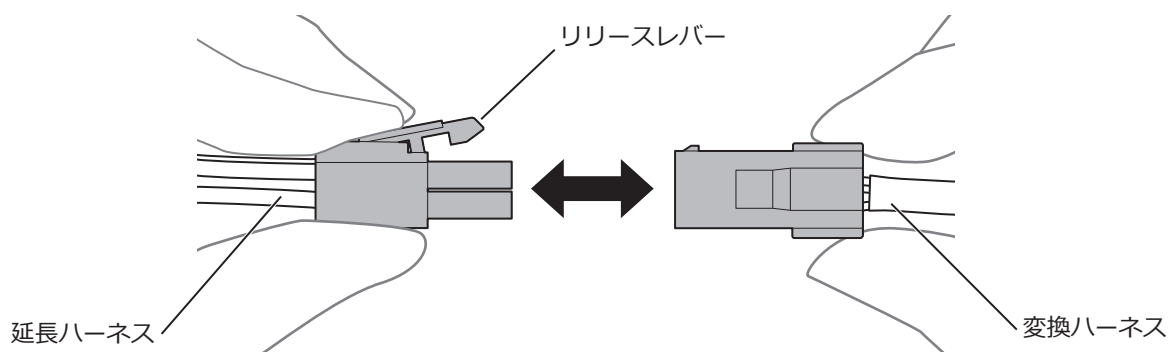
ハーネスの接続方法（連結ハーネスを除く）

ハーネス同士を接続する際は、先端の形状を確認して確実に接続してください。
以下に延長ハーネスと変換ハーネスの例を示します。

- ハーネスを接続するとき
延長ハーネスを変換ハーネスにパチンと差し込みます。



- ハーネスを外すとき
リリースレバーを押しながら変換ハーネスを延長ハーネスから抜きます。



最大接続数

本製品は連結ハーネスを用いてベースプレートを連結することにより、1台の電源装置に複数のベースプレートを接続することができます。

接続できる最大連結数は、P.6電源装置一覧「接続できる最大有機ELパネル数」をご覧ください。

電源装置の接続



警告



電源の配線は電気工事士の有資格者が必ず実施してください。

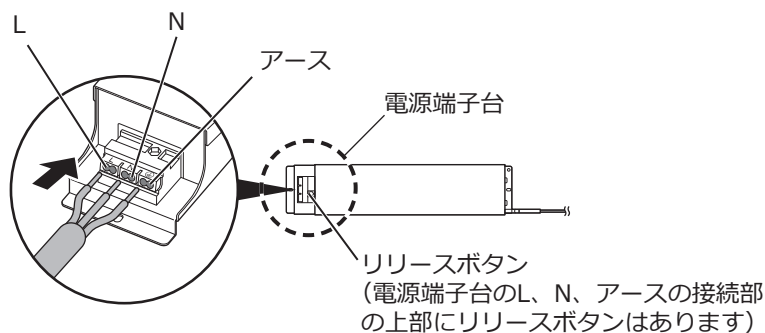
取り付けに不備があると火災、感電のおそれがあります。

電源装置には、電源ケーブルと電源ハーネスを接続しLZ-P03（共進社製）とLZ-P04/LZ-P05/LZ-P06（Luci社製）では、電源ケーブル、電源ハーネスの接続方法が異なります。
詳細は電源装置の取扱説明書をご覧ください。

LZ-P03（KLVZ240-50H共進社製）

①電源装置の電源端子台に電源ケーブルを接続します。

極性に注意して電源端子台のL、N、アースにそれぞれ配線します。



■ケーブルを電源端子台に接続するとき

電源ケーブルの被膜を8mm剥き、被覆を剥いた部分が隠れるように電源端子挿入口の奥まで差し込んでください。

-被覆を剥いた部分が端子挿入口から外に見える場合は、一旦ケーブルを端子台から抜き、差し直してください。

-電源装置の極性表示を元に正しく接続してください。

■ケーブルを電源端子台から抜くとき

電源端子台上部のリリースボタンを押しながら抜いてください。

-リリースボタンを押さずに無理に引っ張って抜かないでください。

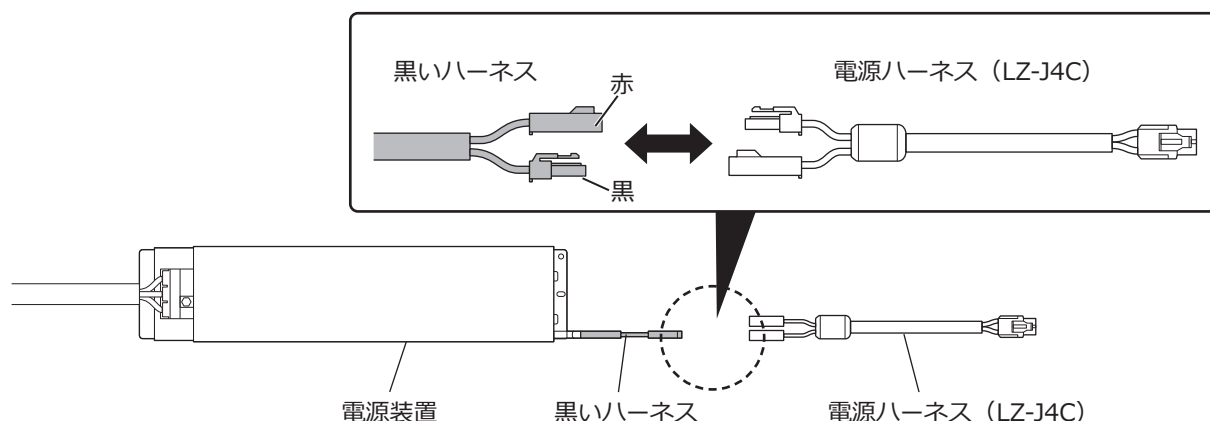
■ケーブル接続後の確認

各ケーブルが確実に挿入されていて、電源端子台から抜けないことを確認してください。

②電源装置に電源ハーネス（LZ-J4C3）を接続します。

電源装置には納品時に黒いハーネスが取り付けられています。

そのハーネスと電源ハーネス（LZ-J4C3）を接続します。



LZ-P04 ～ 06（LPSOL-xxx-24-ND-I Luci社製）

①電源装置のAC（入力側）に電源ケーブルを接続します。

極性に注意して入力電線のL、N、アースにそれぞれ配線します。

接続方法は、電源装置の取扱説明書に従ってください。

配線後は確実に接続されていることを確認してください。

②電源装置のDC（出力）に電源ハーネス（LZ-U4L）を接続します。

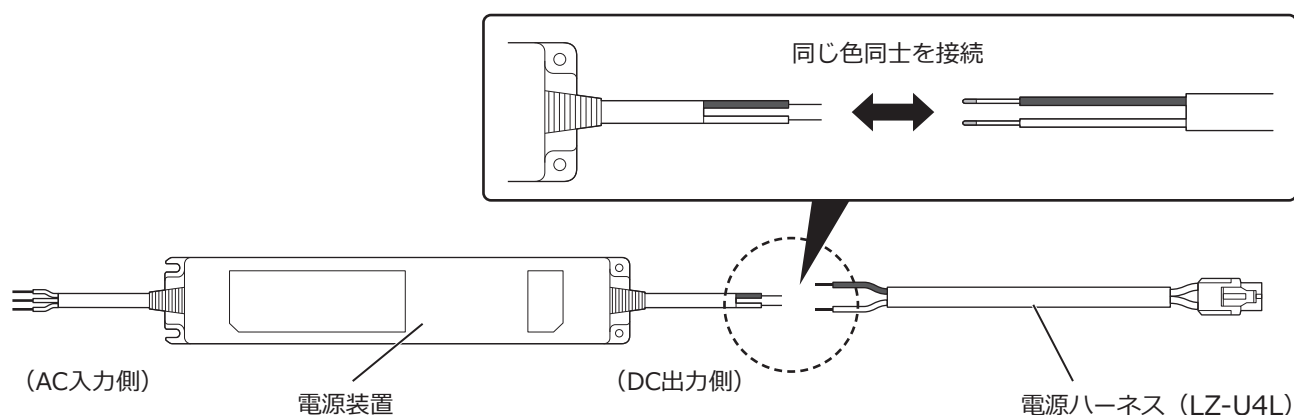
出力電線のDC（黒）を電源ハーネスの黒（+）に接続します。

出力電線のDC（白）を電源ハーネスの白（-）に接続します。

接続箇所は絶縁スリーブやワンタッチコネクタ等を用いて必ず確実な絶縁処理を行ってください。

配線後は、確実に接続されていることを確認してください。

接続部はジョイントボックスに収容する等の適切な処置を行ってください。



次のハーネスの接続

調光ありの場合

■P.16「④調光インターフェースの接続」をご覧ください。

調光なしの場合

■延長ハーネスを使う場合

電源ハーネスにジョイントハーネスを接続し、ジョイントハーネスに延長ハーネスを接続します。

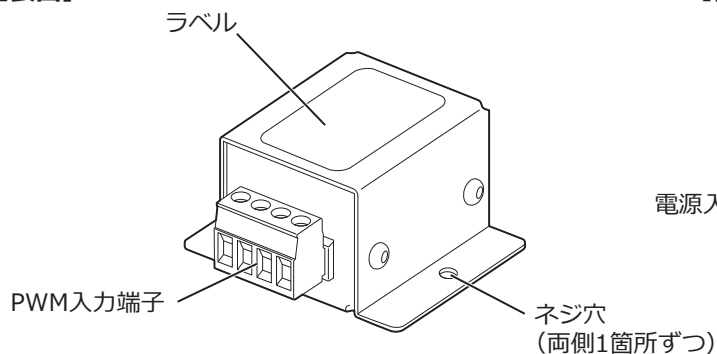
■延長ハーネスを使わない場合

電源ハーネスに直接、変換ハーネスを接続します。

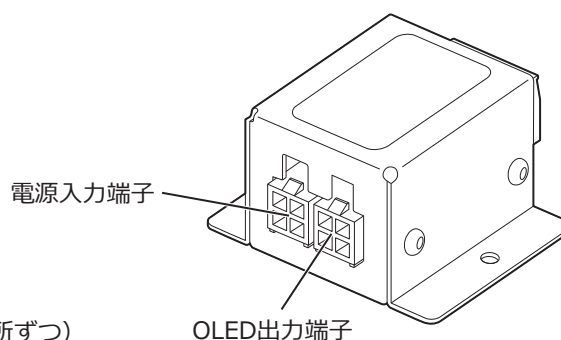
④調光インターフェースの接続 (調光ありの場合)

調光インターフェースの各部の名称

【表面】



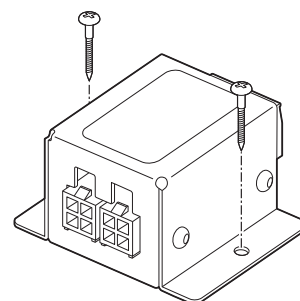
【裏面】



ハーネスの接続

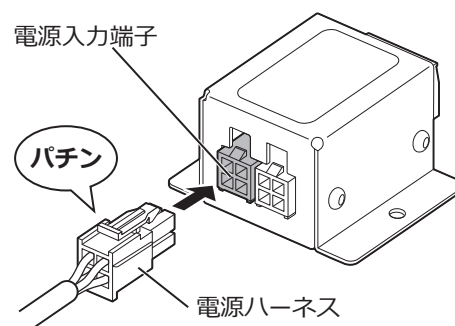
①調光インターフェースを固定用ネジで取り付けます。

調光インターフェースを固定してから配線してください。



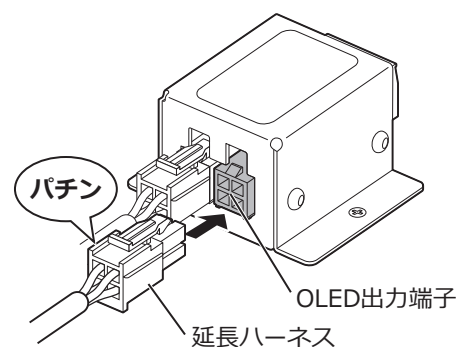
②電源装置に接続した電源ハーネスを電源入力端子に接続します。

コネクタの向きに注意し、ツメで固定されるまで差し込んでください。



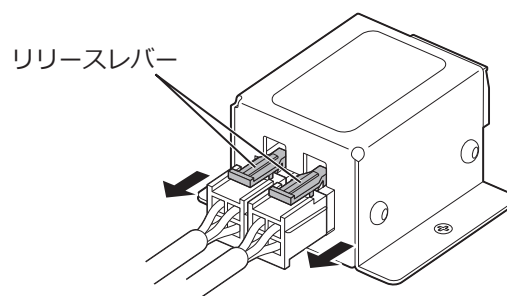
③延長ハーネスをOLED出力端子に接続します。

コネクタの向きに注意し、ツメで固定されるまで差し込んでください。



各ハーネスの外し方

リリースレバーを押しながら抜きます。



④調光インターフェースの接続 (調光ありの場合) (つづき)

PWM調光器の調光信号線の接続



警告



PWM調光器の配線は使用する調光器の取扱説明書の内容に従ってください。
取り付けに不備があると火災、感電のおそれがあります。

■PWM調光器の調光信号線を、PWM入力/送り端子の「入力」に接続します。

マイナスドライバーで端子のネジを緩め、調光器からの信号線を差し込みます。

マイナスドライバーで端子のネジを締め、信号線を固定します。

信号線が端子から抜けなことを確認します。



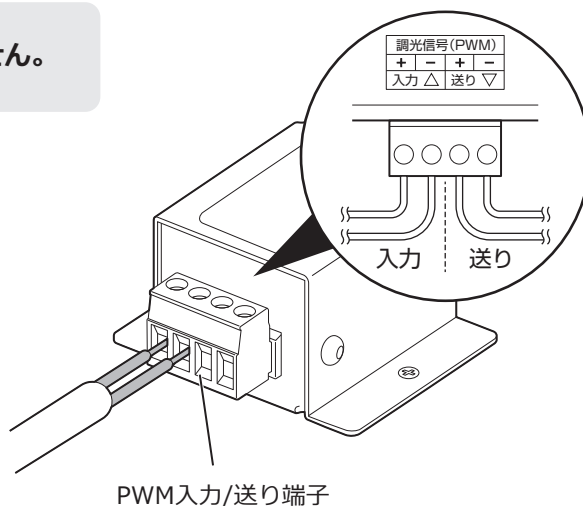
注意



調光信号線の入出力に注意してください。
入出力の接続をあやまると、破損や故障の原因となります。

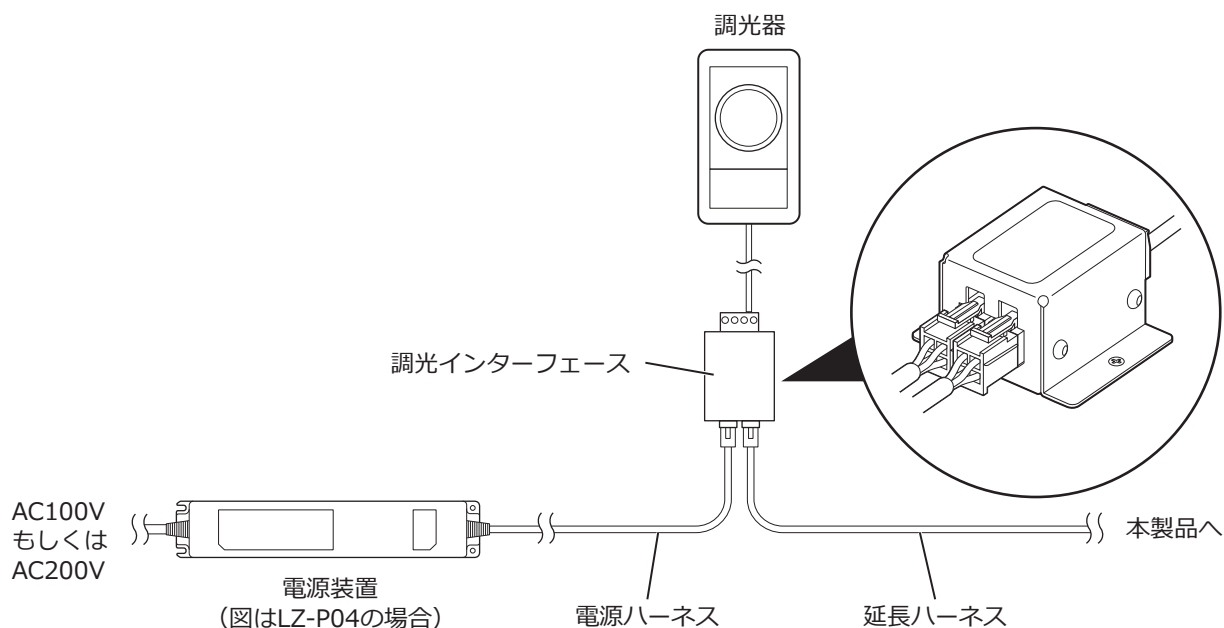


PWM入力端子、送り端子には、極性はありません。



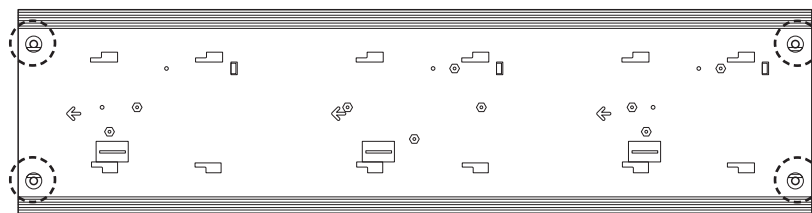
PWM入力/送り端子

ここまでの接続が終了すると、下図のようになります。



ベースプレートは、ベースプレート用固定ネジ（P.7）4本または6本で壁、天井、棚板などに取り付けます。

- ベースプレートには、取り付け用のネジ穴があります。
詳細は、P.9「ベースプレート表面（発光面）」をご覧ください。

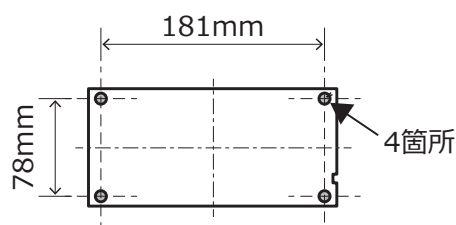


下穴加工をする

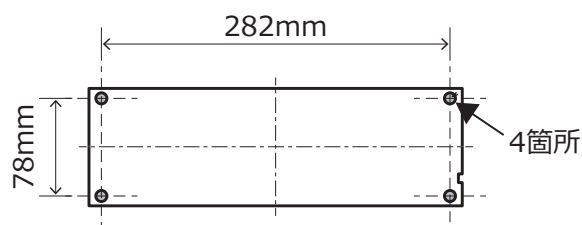
下図に従い、取り付け用の下穴を加工します。

- ・各ベースプレートの表面穴径：Φ4.2
- ・下穴は施工面および使用するネジ種に合わせて適切な穴径を選択してください。

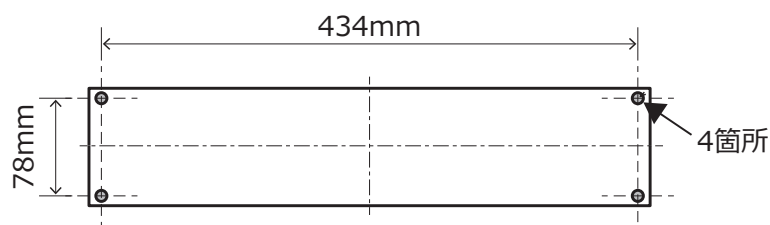
- S/SF-202L/Wの場合



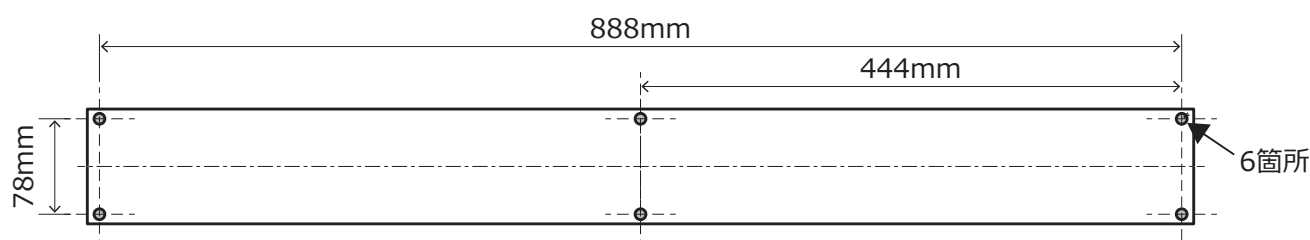
- S/SF-303L/Wの場合



- S/SF-455L/Wの場合



- SF-910-6L/W、SF-910-9L/Wの場合



コネクタとハーネスの接続

ベースプレートには、変換ハーネスまたは連結ハーネスを接続します。

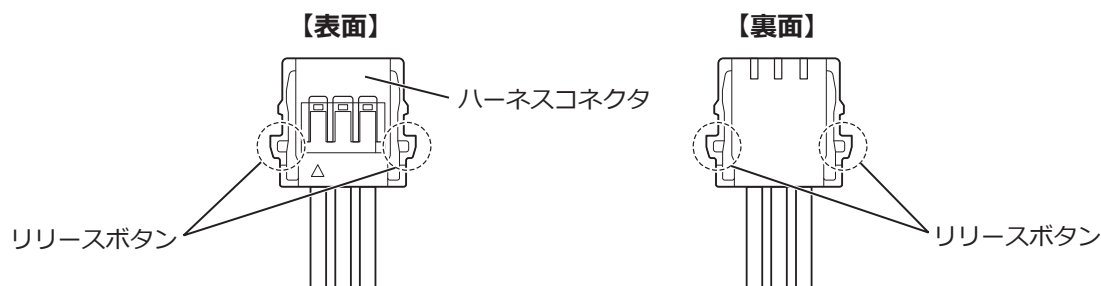
- 変換ハーネス：電源装置や調光インターフェースと接続するために、電源ハーネス、または延長ハーネスと接続する際に使用します。
- 連結ハーネス：ベースプレート同士を接続する際に使用します。設置位置や配線に合わせて、ベースプレートのコネクタ1、コネクタ2のどちらかに接続してください。



- 変換ハーネスは、電源装置や調光インターフェースを設置する側のコネクタに接続してください。
- 連結ハーネスは、連結するベースプレートに近い側のコネクタに接続してください。

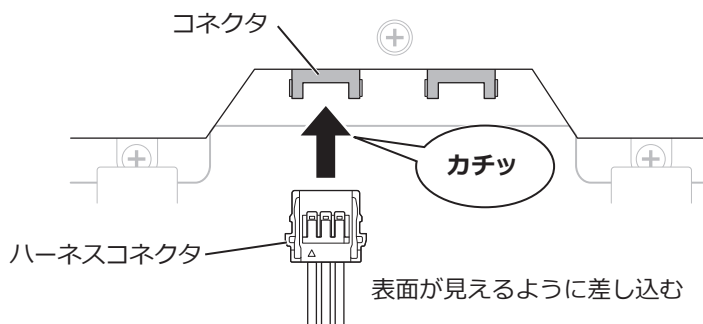
ハーネスコネクタの向きと取り扱い

変換ハーネスと連結ハーネスはベースプレートのコネクタに接続するために同じハーネスコネクタを使用しています。ハーネスコネクタには表面と裏面があります。表面が設置面側に、裏面がベースプレート側になります。



コネクタへの接続

ハーネスコネクタの表を上にしてリリースボタンを持ち、コネクタに接続します。カチッと止まるまで差し込みます。ハーネスを軽く引っ張り、抜けないことを確認します。

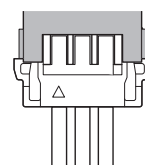
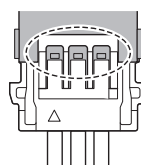


⚠ 注意



金属部分が見えなくなるまでハーネスコネクタをコネクタに差し込んでください。

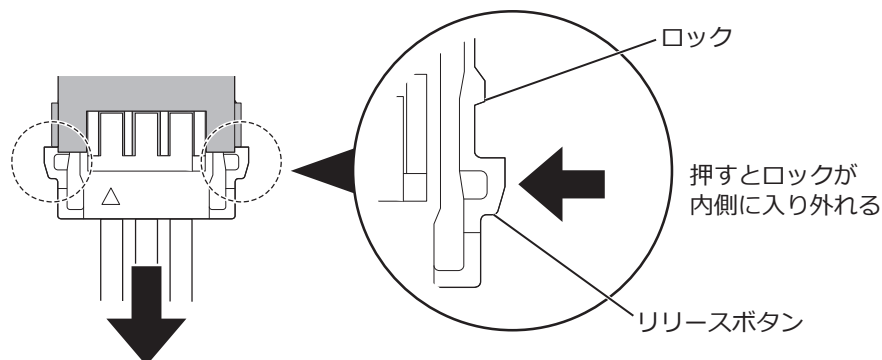
接触不良により、破損や故障の原因となります。



⑥ベースプレートとハーネスの接続 (つづき)

コネクタからの取り外し

下図に示すように、ハーネスコネクタのリリースボタンを両側から押しながらゆっくり引きます。
リリースボタンを両側から押すと、コネクタのロックが外れます。



⚠ 注意



必ずリリースボタンを押しながらコネクタから外してください。

ハーネスコネクタ、コネクタの破損の原因となります。



ハーネスを強く引っ張らないでください。

ハーネスコネクタ、コネクタの破損の原因となります。



コネクタの金属部分には触らないでください。

接触不良により、故障の原因となります。

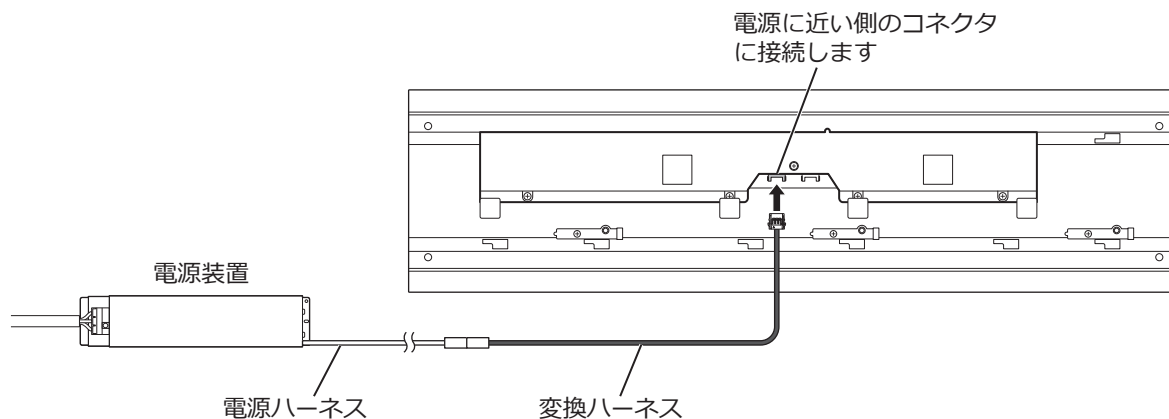
⑥ベースプレートとハーネスの接続 (つづき)

電源装置に一番近いベースプレートから接続します。

変換ハーネスを接続する（電源装置に一番近いベースプレート）

電源装置に一番近いベースプレートに変換ハーネスを接続します。

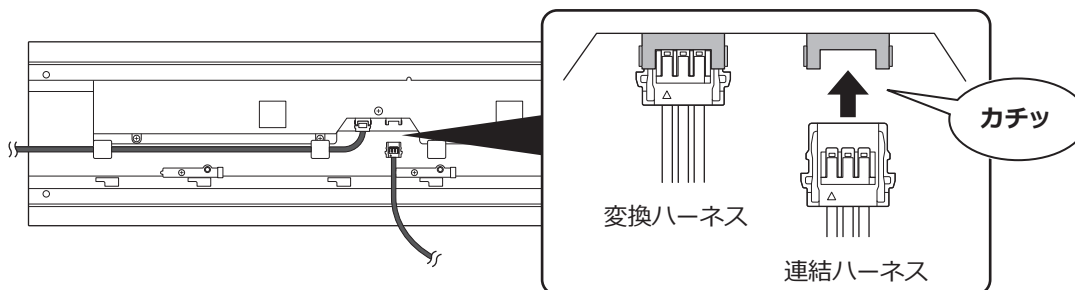
以下に示すように、ベースプレートの2つのコネクタのうち、電源装置に近い側のコネクタに変換ハーネスを接続します。



次に連結するベースプレートがない場合は、空いているコネクタはそのままにしておきます。

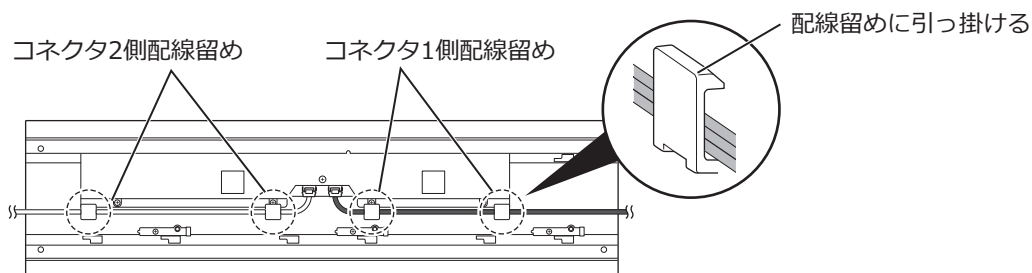
連結ハーネスを接続する（複数台ベースプレートを接続する場合）

ベースプレートの変換ハーネスが接続されていない方のコネクタに連結ハーネスを接続します。



配線留めでハーネスを固定する

コネクタ1に接続しているハーネスはコネクタ1側の配線留めに、コネクタ2に接続しているハーネスはコネクタ2側の配線留めにハーネスを留めます。



注意

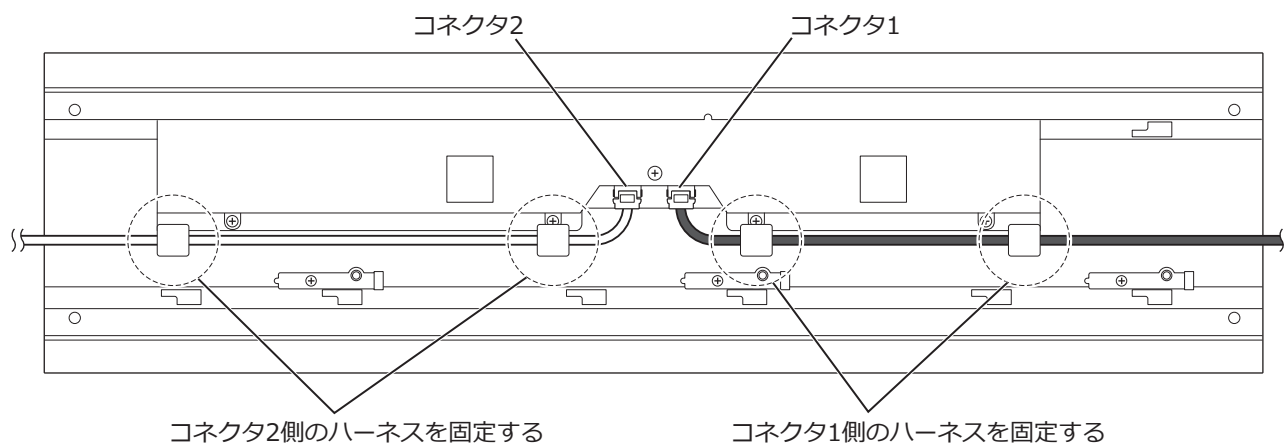


ハーネスは全て配線留めに収めてください。

配線留めに収まっていないと、ハーネスがベースプレートと取り付け面の間に挟まり、ハーネスの破損の原因となります。また、施工中にハーネスを引っ掛けてしまうことによりコネクタが破損する原因となります。

⑥ベースプレートとハーネスの接続 (つづき)

変換ハーネス、連結ハーネスを接続すると、以下の図のようになります。

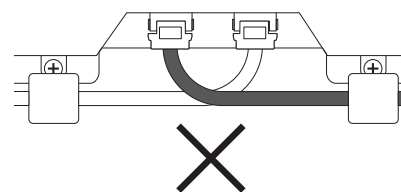


⚠ 注意



ハーネスを交差させないでください。

断線などにより、破損や故障の原因となります。





ベースプレートをネジ止めする前に、変換ハーネス、連結ハーネスを接続します。



注意



変換ハーネス、連結ハーネスをベースプレートと取り付け面の間に挟まないでください。

ハーネスの断線やベースプレートの取り付けの不備の原因となります。

- 本製品取り付け箇所、取り付け向きを確認し、下記に対応するページ記載の取り付け方法をご参照ください。

本製品取り付け向き：

- 1) 光源が上向き・下向きの場合→ P.24
- 2) 壁面に対して横向きに設置する場合→ P.25
- 3) 壁面に対して縦向きに設置する場合→ P.26

- 下記の型番は、ベースプレートのネジ穴が両端^{※1}の有機ELパネルの下にあります。

ネジ止めをするときに、有機ELパネルを取り外しておく必要があります。

各ベースプレート取り付け方法の前後にP. 30「有機ELパネルの取り外し」、並びにP. 30「有機ELパネルの取り付け」を行ってください。

詳細は、各手順を参照してください。

(対象型番)・S/SF-202L/W ・S/SF-303L/W ・SF-910-9L/W

※1 SF-910-9L/Wは、中央にもあります。

有機ELパネルを取り外す S/SF-202L/W、S/SF-303L/W、SF-910-9L/Wの場合

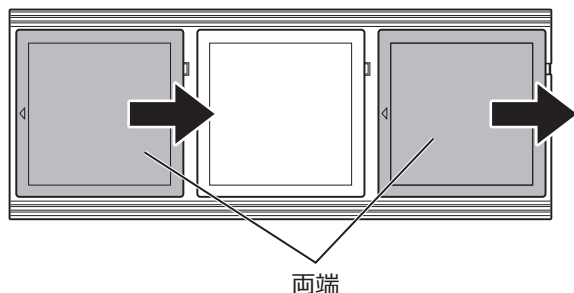
- S/SF-455L/W、SF-910-6L/Wは、本手順は不要です。

①両端の有機ELパネルを外します。

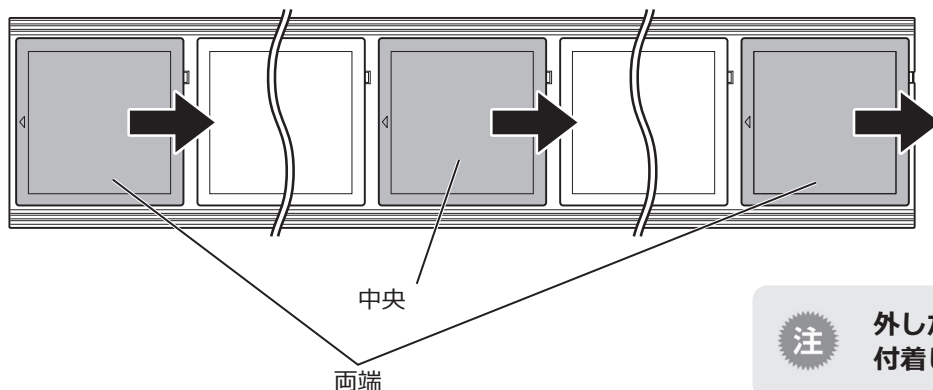
SF-910-9L/Wは、中央（端から5番目）の有機ELパネルも外します。

有機ELパネルの取り外し方法詳細は、取扱説明書P.6「有機ELパネルの交換（取り外し）」をご覧ください。

- SF-303L/W



- SF-910-9L/W



外した有機ELパネルは、傷や異物が付着しないような場所に置いてください。

ベースプレートをネジ止めする



注意



S/SF-455L/W、SF-910-6L/Wは、ネジ止めをするときに、有機ELパネルを傷つけないでください。

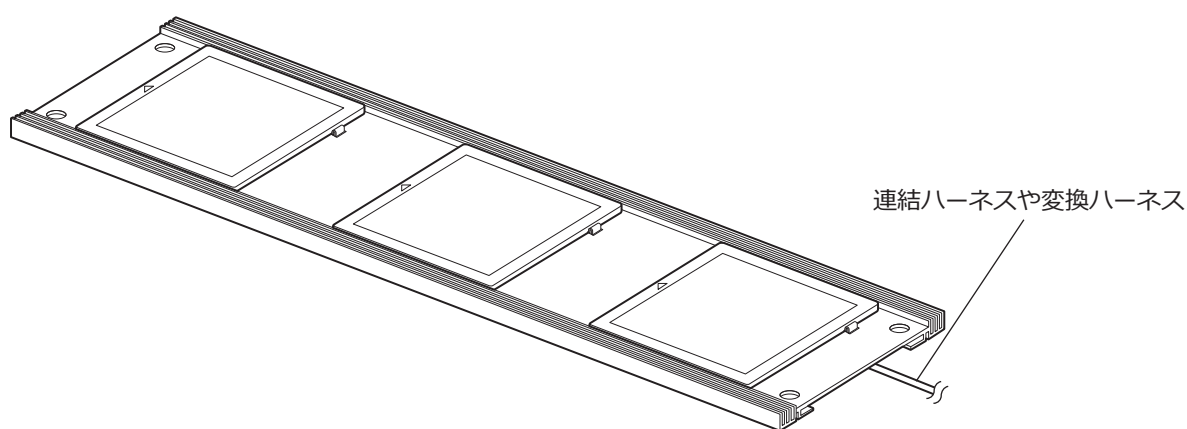
有機ELパネルが傷つくと、故障や破損の原因となります。

●SF-450L/Wの図で説明しています。

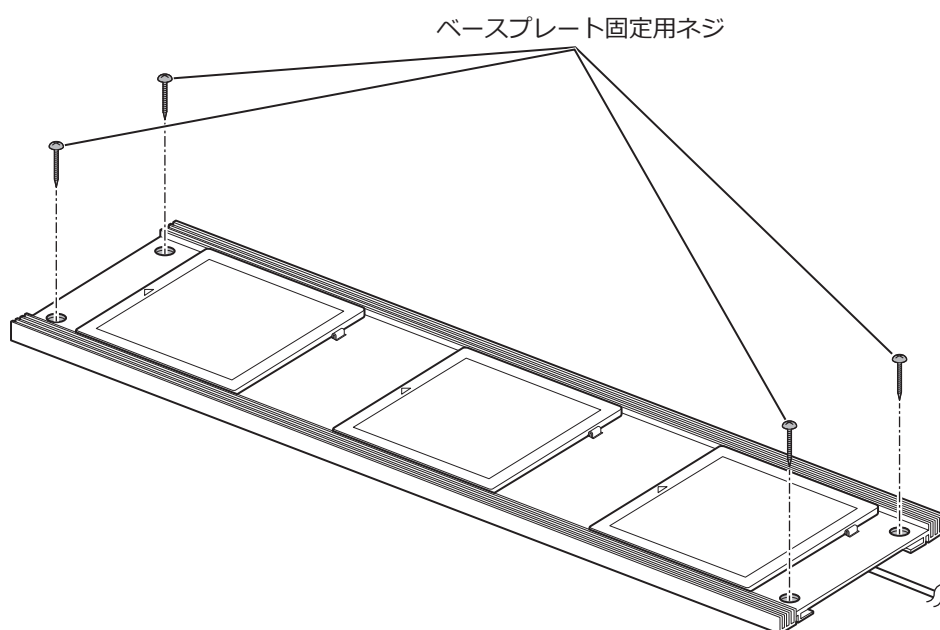
1) 光源が上向き・下向きの場合

①あらかじめ下穴を開けておいた取り付け面に仮置きします。

下図に示すように、連結ハーネスや変換ハーネスは、必ずベースプレート短辺から出るようにしてください。



②型番に合わせて、ネジ穴にベースプレート固定用ネジで固定します。



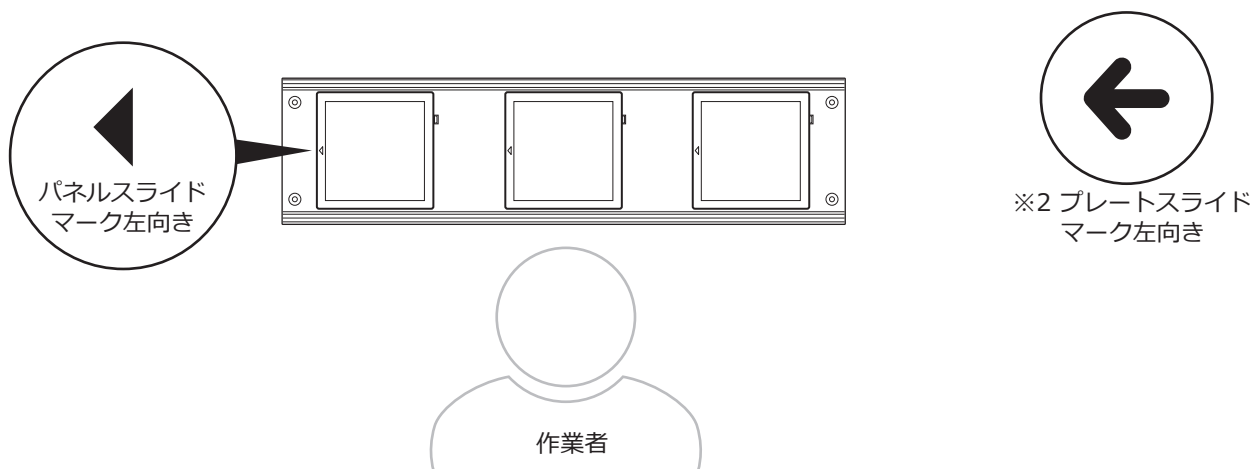
③ベースプレートが固定されていることを確認します。

2) 壁面に対して横向きに設置する場合

①あらかじめ下穴を開けておいた取り付け面に仮置きします。

下図の通り、パネルスライドマーク※¹が作業者から見て左向きになるようにしてください。

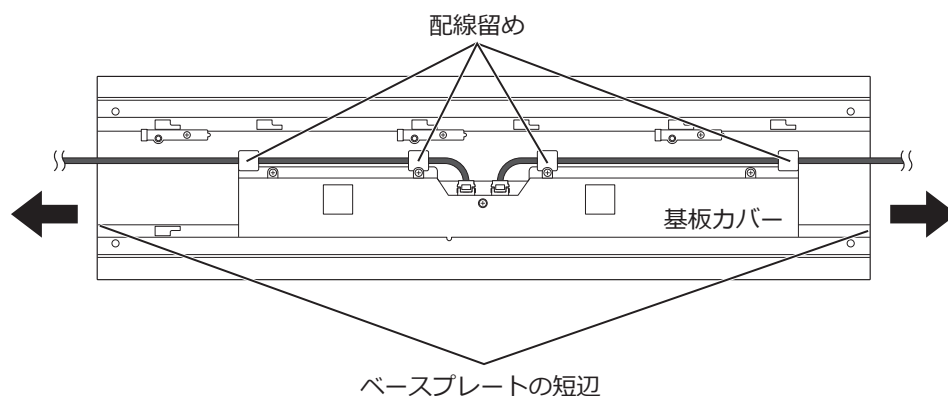
※¹ S/SF-202L/W、S/SF-303L/W、SF-910-9L/Wの場合は、プレートスライドマーク※²



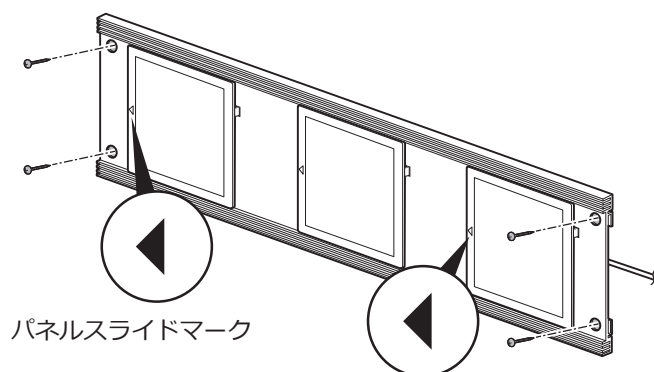
●取り付ける際は、基板カバーの配線留めが上側になっていることを確認してください。

下図に示すように、連結ハーネスや変換ハーネスは、必ずベースプレートの短辺から出るようにしてください。

●背面図



②型番に合わせて、ネジ穴にベースプレート固定用ネジで固定します。



③ベースプレートが固定されていることを確認します。



パネルスライドマーク（プレートスライドマーク）の向きが、左向きになっていることを必ずご確認ください。



パネルスライドマーク
左向き



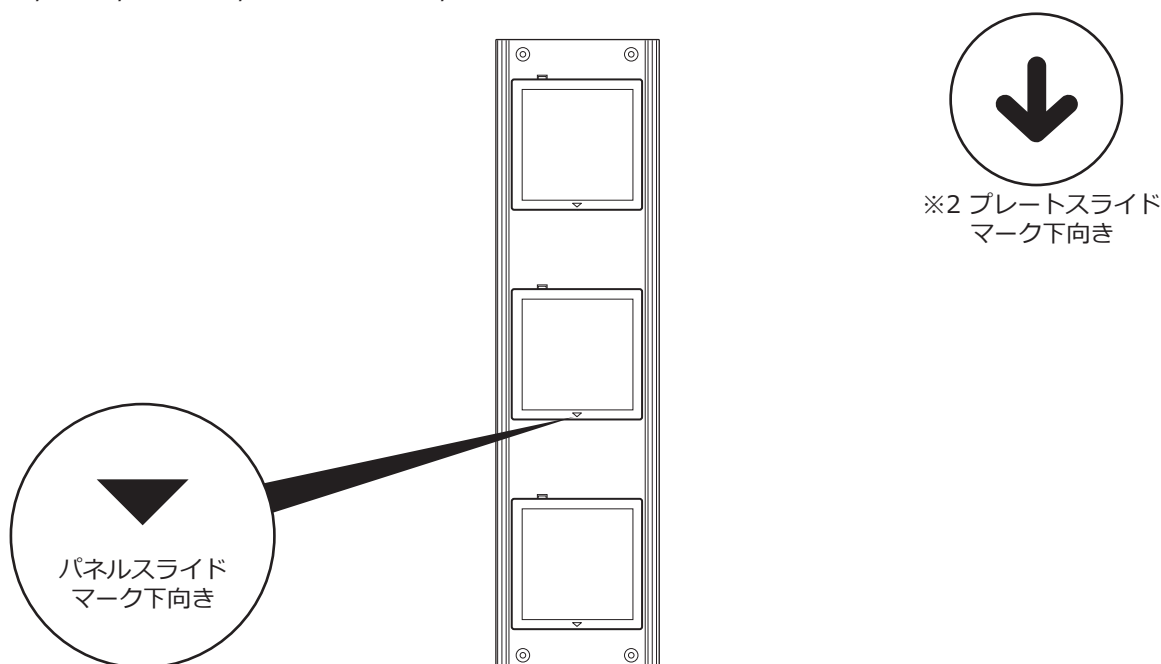
プレートスライドマーク
左向き

3) 壁面に対して縦向きに設置する場合

①あらかじめ下穴を開けておいた取り付け面に仮置きします。

下図の通り、パネルスライドマーク※¹が下側を向くようにしてください。

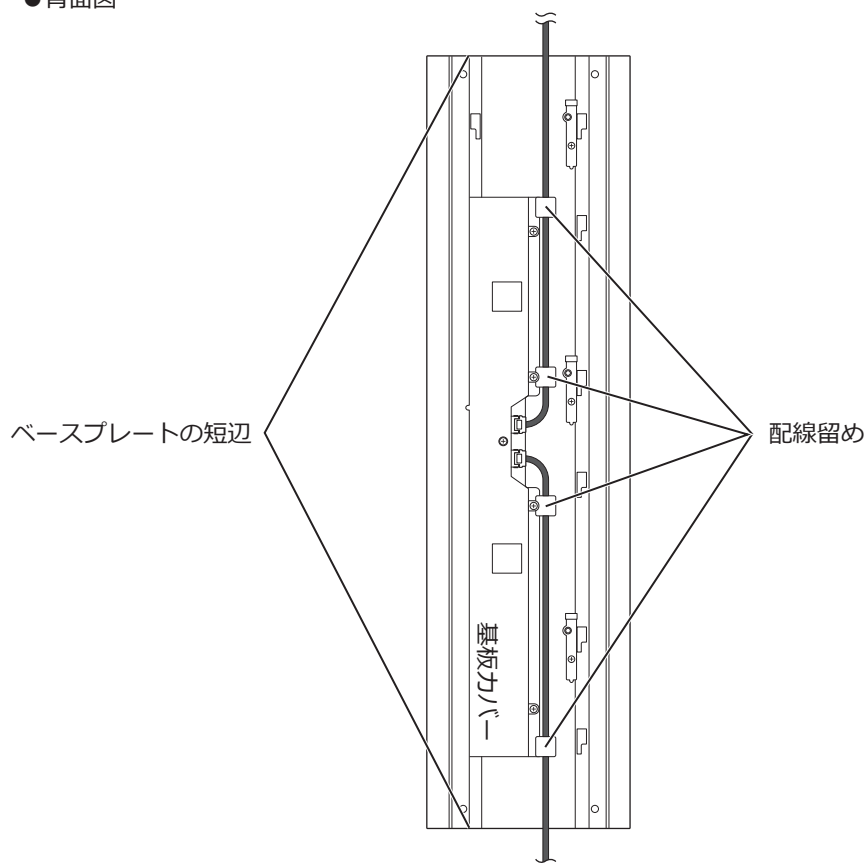
※¹ S/SF-202L/W、S/SF-303L/W、SF-910-9L/Wの場合は、プレートスライドマーク※²



●基板カバーの配線留めが図のようになっていることを確認してください。

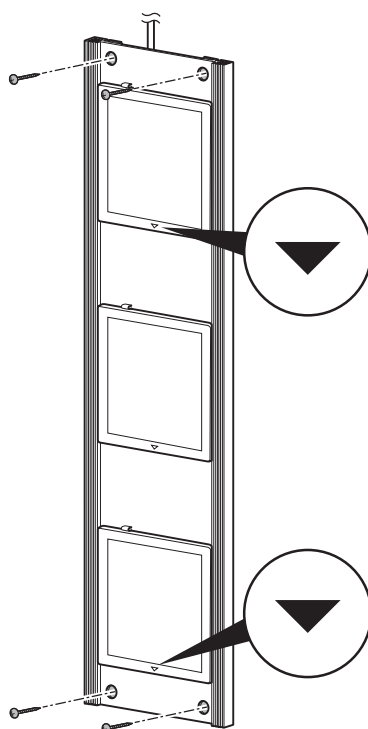
下図に示すように、連結ハーネスや変換ハーネスは、必ずベースプレートの短辺から出るようにしてください。

●背面図



⑦ベースプレートの取り付け (つづき)

②型番に合わせて、ネジ穴にベースプレート固定用ネジで固定します。



③ベースプレートが固定されていることを確認します。



パネルスライドマーク（プレートスライドマーク）の向きが、下向きになっていることを必ずご確認ください。



パネルスライドマーク
左向き



プレートスライドマーク
左向き

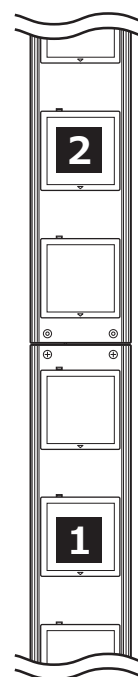


注意



連結して接続する場合は、必ず下から上方向に
連結してください。

ハーネス破損や故障の原因となります。



上側

連結順番：1の次に2

下側

有機ELパネルを取り付ける S/SF-202L/W、S/SF-303L/W、SF-910-9L/Wの場合

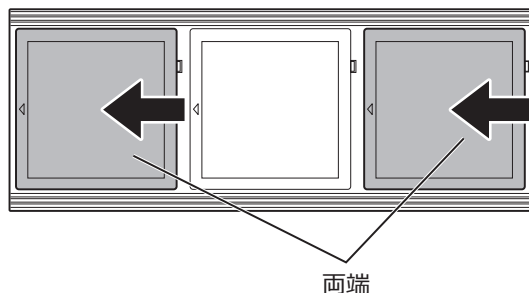
●S/SF-455L/W、SF-910-6L/Wは、本手順は不要です。

①外した両端の有機ELパネルを取り付けます。

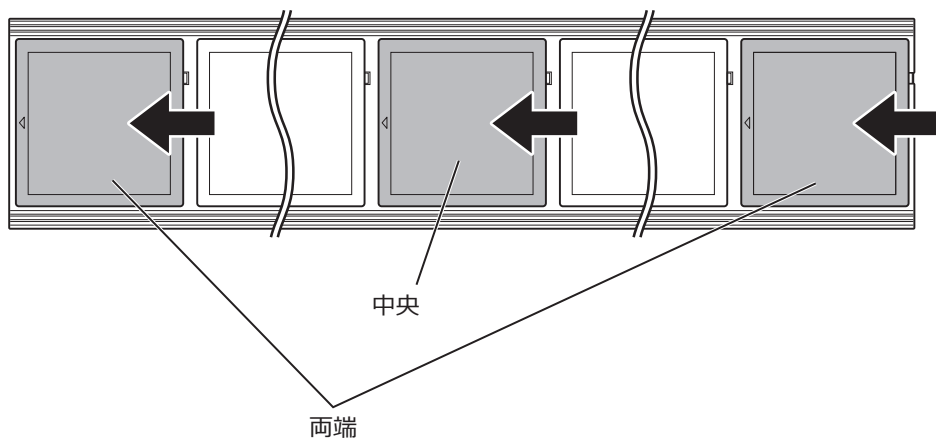
SF-910-9L/Wは、中央（端から5番目）の有機ELパネルも取り付けます。

有機ELパネルの取り付け方法詳細は、取扱説明書P.7「有機ELパネルの交換（取り付け）」をご覧ください。

●SF-303L/W



●SF-910-9L/W

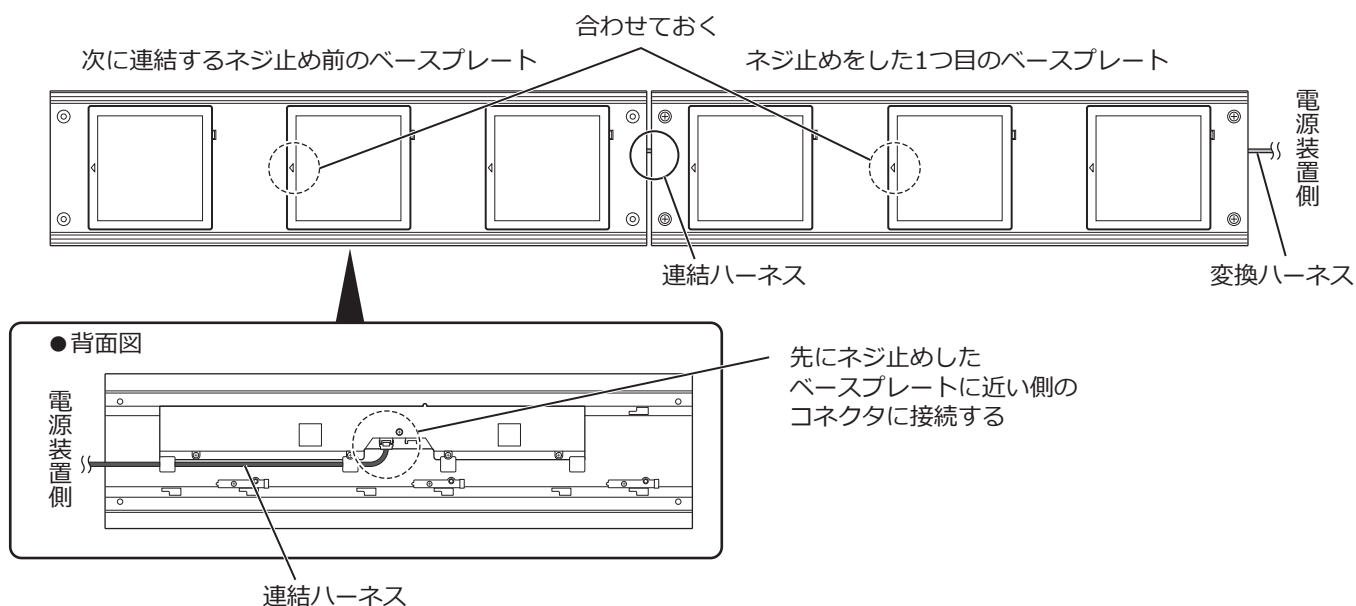


連結するベースプレートをネジ止めする（ベースプレートを連結する場合）



ベースプレートをネジ止めする前に、連結ハーネスを接続します。

- ①1つ目のベースプレートから出ている連結ハーネスを、2つ目のベースプレートに接続します。
連結ハーネスの接続方法は、P.21「連結ハーネスを接続する」をご覧ください。



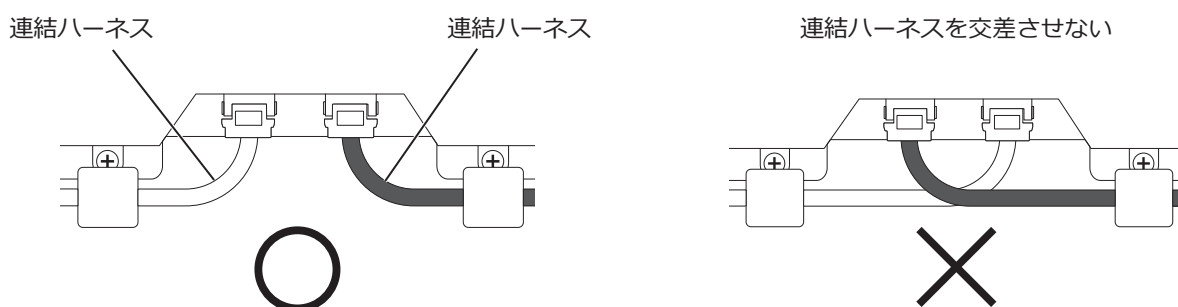
- ②さらに連結するベースプレートがある場合は、2つ目のベースプレートの空いているコネクタに3つ目のベースプレートを連結するための連結コネクタを接続します。

- ③その後、P.21「配線留めでハーネスを固定する」からP.24～27「ベースプレートをネジ止めする」までの施工を実施します。

----- 本製品をさらに連結する場合は、続けて上記の手順①～③に従ってください -----



●3台以上連結するとき、ベースプレートに接続した連結ハーネスが交差しないように注意してください。



「⑦ベースプレートの取り付け」まで完了したら、電源を入れ、P.12、13「②接続と配線」で配線した 電源スイッチや調光器で動作の確認をしてください。

- 設置したすべての製品が正常に点灯し、異音や発煙、発火などが発生していないか確認します。
- 異常が発見されたら直ちに主電源を切り、異常個所の確認、修正を行ってください。

有機ELパネルの取り外しに関しては、取扱説明書P.6「有機ELパネルの交換（取り外し）」をご参照ください。

有機ELパネルの取り付けに関しては、取扱説明書P.7「有機ELパネルの交換（取り付け）」をご参照ください。

製品仕様（フィンなし）

製品名	KANEKA LUCE ARCHITECTURE Slim Light（Sシリーズ）					
型番	S-202L	S-202W	S-303L	S-303W	S-455L	S-455W
寸法：長さ	201mm		302mm		454mm	
寸法：奥行	95mm					
寸法：高さ	9.4mm					
重量※1	220g		330g		420g	
本体色	シルバー					
光源種別	有機ELパネル					
光源数	2個		3個		3個	
スライド穴数	上：4個 下：4個		上：6個 下：6個		上：6個 下：6個	
ネジ穴数	上：2個 下：2個					
配線留め数	3個		4個		4個	
ロック爪数	2個		3個		3個	
電極数	2個		3個		3個	
プレート スライドマーク数	2個		3個		3個	
光源駆動電流	326mA					
全光束（初期）	155lm	165lm	233lm	248lm	233lm	248lm
相対色温度	3000K	4000K	3000K	4000K	3000K	4000K
演色性	90					
調光機能	有り　PWM方式　指定調光インターフェースを使用					
調光範囲※2	5～100%					
調光入力方式	ねじ式適合電線（送り付き）：Φ0.9mmもしくはΦ1.2mm 1P CPEV線遮蔽付き					
電源入力方式	専用コネクタ式：Φ1.6もしくはΦ2.0 3芯 VVFケーブル					
定格消費電力※3	6W	6W	9W	9W	9W	9W
最大消費電力※4	8W	8W	12W	12W	12W	12W
最大入力電流※4	0.33A	0.33A	0.5A	0.5A	0.5A	0.5A
定格入力電圧	DC24V（専用電源を使用）					
動作温度範囲	5～35℃（結露なきこと）					

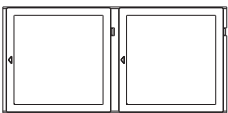
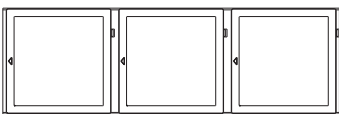
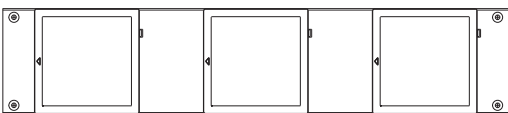
※1 配線の重量を含みません。

※2 調光器を接続している場合

※3 調光最大時、使用開始初期

※4 調光最大時、光源寿命（LT70）末期

製品外形図

S-202L S-202W	
S-303L S-303W	
S-455L S-455W	

製品仕様（フィン付き）

製品名	KANEKA LUCE ARCHITECTURE Slim Light（Sシリーズ）					
型番	SF-202L	SF-202W	SF-303L	SF-303W	SF-455L	SF-455W
寸法：長さ	201mm		302mm		454mm	
寸法：奥行	117mm					
寸法：高さ	9.4mm					
重量※1	304g		455g		600g	
本体色	シルバー					
光源種別	有機ELパネル					
光源数	2個		3個		3個	
スライド穴数	上：4個 下：4個		上：6個 下：6個		上：6個 下：6個	
ネジ穴数	上：2個 下：2個					
配線留め数	3個		4個		4個	
ロック爪数	2個		3個		3個	
電極数	2個		3個		3個	
プレート スライドマーク数	2個		3個		3個	
光源駆動電流	326mA					
全光束（初期）	155lm	165lm	233lm	248lm	233lm	248lm
相対色温度	3000K	4000K	3000K	4000K	3000K	4000K
演色性	90					
調光機能	有り　PWM方式　指定調光インターフェースを使用					
調光範囲※2	5～100%					
調光入力方式	ねじ式適合電線（送り付き）：Φ0.9mmもしくはΦ1.2mm 1P CPEV線遮蔽付き					
電源入力方式	専用コネクタ式：Φ1.6もしくはΦ2.0 3芯 VVFケーブル					
定格消費電力※3	6W	6W	9W	9W	9W	9W
最大消費電力※4	8W	8W	12W	12W	12W	12W
最大入力電流※4	0.33A	0.33A	0.5A	0.5A	0.5A	0.5A
定格入力電圧	DC24V（専用電源を使用）					
動作温度範囲	5～35℃（結露なきこと）					

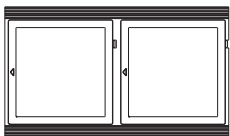
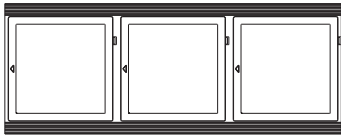
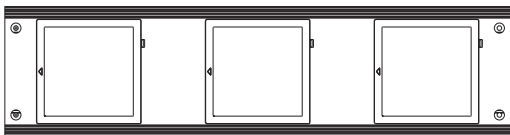
※1 配線の重量を含みません。

※2 調光器を接続している場合

※3 調光最大時、使用開始初期

※4 調光最大時、光源寿命（LT70）末期

製品外形図

SF-202L SF-202W	
SF-303L SF-303W	
SF-455L SF-455W	

製品仕様（フィン付き）

製品名	KANEKA LUCE ARCHITECTURE Slim Light（Sシリーズ）			
型番	SF-910-6L	SF-910-6W	SF-910-9L	SF-910-9W
寸法：長さ	909mm		909mm	
寸法：奥行	117mm			
寸法：高さ	9.4mm			
重量※1	1,200g		1,370g	
本体色	シルバー			
光源種別	有機ELパネル			
光源数	6個		9個	
スライド穴数	上：12個 下：12個		上：18個 下：18個	
ネジ穴数	上：3個 下：3個			
配線留め数	8個		12個	
ロック爪数	6個		9個	
電極数	6個		9個	
プレート スライドマーク数	6個		9個	
光源駆動電流	326mA			
全光束（初期）	466lm	496lm	699lm	744lm
相対色温度	3000K	4000K	3000K	4000K
演色性	90			
調光機能	有り　PWM方式　指定調光インターフェースを使用			
調光範囲※2	5～100%			
調光入力方式	ねじ式適合電線（送り付き）：Φ0.9mmもしくはΦ1.2mm 1P CPEV線遮蔽付き			
電源入力方式	専用コネクタ式：Φ1.6もしくはΦ2.0 3芯 VVFケーブル			
定格消費電力※3	18W	18W	27W	27W
最大消費電力※4	24W	24W	36W	36W
最大入力電流※4	1.0A	1.0A	1.5A	1.5A
定格入力電圧	DC24V（専用電源を使用）			
動作温度範囲	5～35℃（結露なきこと）			

※1 配線の重量を含みません。

※2 調光器を接続している場合

※3 調光最大時、使用開始初期

※4 調光最大時、光源寿命（LT70）末期

製品外形図

SF-910-6L SF-910-6W	
SF-910-9L SF-910-9W	

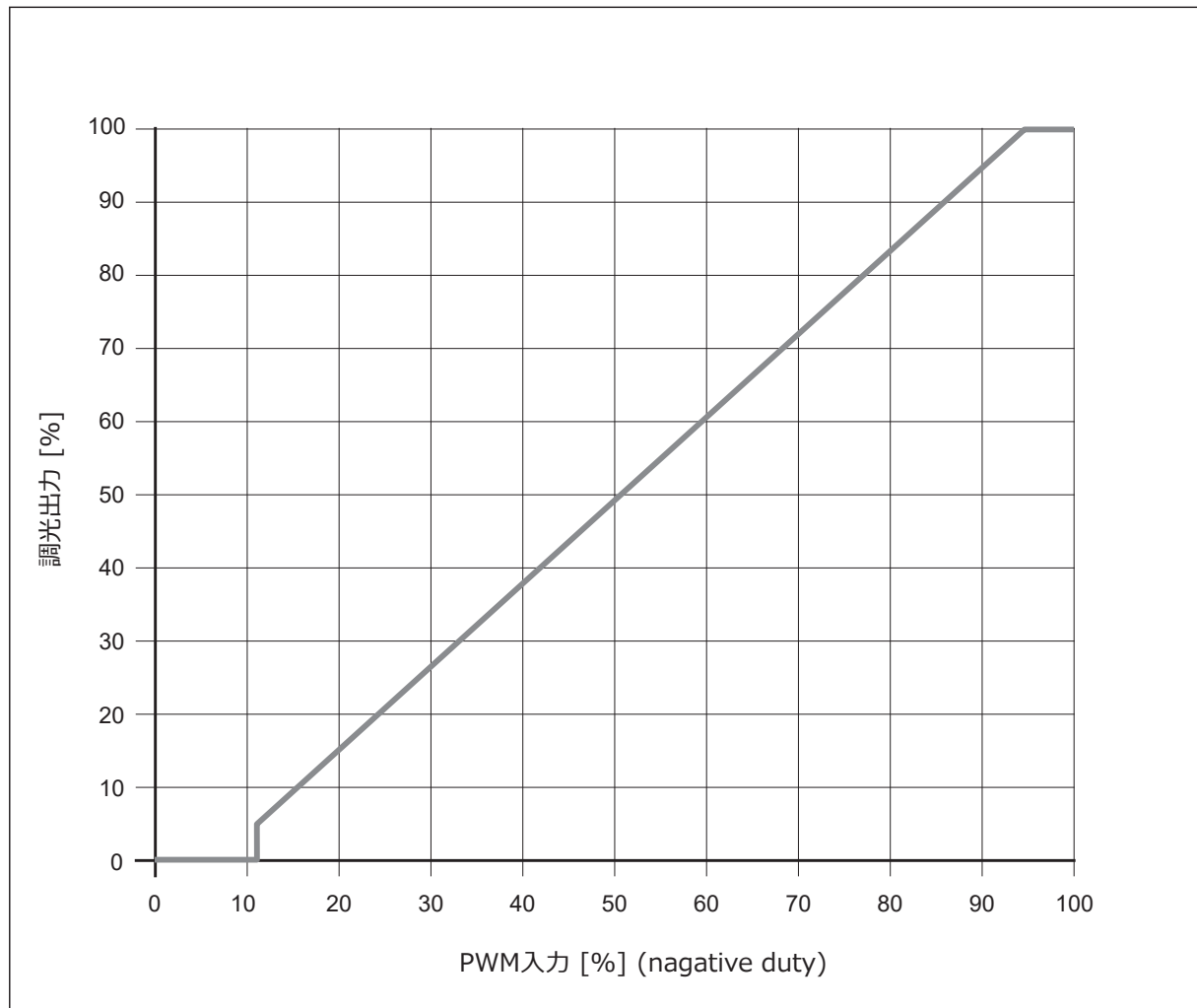
調光インターフェース仕様（別売）

型番	LZ-IF3
寸法：幅	55mm
寸法：奥行	56mm
寸法：高さ	30mm
重量※1	33g
電源入出力端子	MUMNL 4pinコネクタ
PWM入力/送り端子	フェニックスコンタクト コネクタ4pin
絶対最大定格	
最大入力電圧	DC +30V（PWM端子含む）
動作温度範囲	0 ～ 60℃ / 相対湿度85%以下（結露なきこと）
保存温度範囲	-20 ～ 60℃ / 相対湿度85%以下（結露なきこと）
駆動条件	
定格入力電圧	DC 24V ±10%
動作保証電圧範囲	DC +19V ～ +29V
PWM入力仕様	JISC8120：2008準拠
PWM入力電圧	標準値12V High電圧範囲10V ～ 25V
PWM入力抵抗	4.7 k Ω
PWM入力周波数	標準1KHz 入力範囲100Hz ～ 3kHz
標準特性	
無負荷時消費電流	標準10mA 最大20mA以下
最大負荷電流	最大5A
PWM出力周波数	20kHz±100Hz
PWM出力Duty比	0%～ 100%（点灯可能範囲5%～ 100%）

※1 配線の重量を含みません。

調光IFについて

調光特性 (PWM調光)



株式会社 カネカ

OLED事業開発プロジェクト

〒107-6028 東京都港区赤坂1-12-32（アーク森ビル）

e-mail : oled-market@kaneka.co.jp

KANEKA LUCE ARCHITECTURE Sシリーズ 施工要領書

Document No. OBL-4100-007/004 2024年12月 第4版

Printed in Japan

KANEKA LUCE（商標5895549）およびARCHITECTURE（商標6464510）は株式会社カネカの登録商標です。